



Published by the Buddhist Churches of America,
Southern District Ministers' Association with
funding from the Southern District Council.

Southern District Temples

- Arizona Buddhist Temple
- Buddhist Church of Santa Barbara
- Buddhist Temple of San Diego
- Gardena Buddhist Church
- Los Angeles Homba Hongwanji Buddhist Temple
- Orange County Buddhist Church
- Oxnard Buddhist Temple
- Pasadena Buddhist Temple
- San Fernando Valley Hongwanji Buddhist Temple
- Senshin Buddhist Temple
- Venice Hongwanji Buddhist Temple
- Vista Buddhist Temple
- West Los Angeles Buddhist Temple



Buddhist Churches of America

<http://buddhistchurchesofamerica.org>

南無阿弥陀仏って
なんのこと?
(1)

ワンドラ 睦
オレンジ郡仏教会

阿弥陀如来さまは限りない 智慧と慈悲の仏さまであり、その名前を「南無阿弥陀仏」といわれます

はじめに

浄土真宗は鎌倉時代に大乘仏教のなかの往生浄土教の教えにもとづいて、親鸞聖人（1173～1263）によって開かれました。親鸞聖人は法然聖人（1133～1212）を師として、念仏の教えを継承し、すべての人を救うと誓われた阿弥陀仏の本願をより深め、人々の救済の道を説かれました。阿弥陀仏の名前である「南無阿弥陀仏」は名号と呼ばれ、浄土真宗の教えにおいて救済の要となっています。この名号「南無阿弥陀仏」について、浄土経典や親鸞聖人の著作を通してお話ししましょう

南無阿弥陀仏ってなんのこと？

「南無阿弥陀仏」は阿弥陀仏の名前です。皆さまにも、それぞれ名前があるのと同じことです。原語的には、「南無阿弥陀仏」の「南無」はサンスクリット語の「ナモnamo」の音写語で「私は帰依します」という意味です。そして、「阿弥陀仏」は、そのサンスクリット語の「無量の寿命の仏 (amitāyus)」「無量の光明の仏 (amitābha)」の「はかることのできない」という部分のamitaを略出したものです。よって意味的には、「私は、限りない無量寿・無量光の阿弥陀仏に帰依します」ということになります。これを、親鸞聖人は阿弥陀仏が私たちに「来い」とされる呼び声であると理解されました。ちなみに、中国語では、「南無阿弥陀仏」は「ナーモーアーミートウオフォー」と発音されま

す。浄土経典のひとつである『仏説阿弥陀経』には、

「ここから西の方へ十億もの仏がたの国々を過ぎたところに、極楽と名づけられる世界がある。そこには阿弥陀仏と申しあげる仏がおられて、今現に教えを説いておいでになる」とあります。この阿弥陀仏、すなわち阿弥陀如来さまという仏さまは、長いご修行のなかで、48のお誓いを建てられた仏さまです。48のお誓いのなかで一番大事なことは、私の名前である「南無阿弥陀仏」を聞き届けてくれたなら、そのすべてのものを救い取って、決して捨てませんというものです。このお誓いには、救ってあげるから座禅をしなさいとか、お経を称えなさいとかという条件は一切ありません。ただ、「南無阿弥陀仏」の私の名前を聞いて欲しいとだけあります。これは、阿弥陀如来さまの私たちへのはかり知れない大慈悲のあらわれなのです。

このように、阿弥陀如来さまは限りない智慧と慈悲の仏さまであり、その名前を「南無阿弥陀仏」といわれるわけです。「重誓偈」というお経には「名声超十方」とあり、阿弥陀仏は声と成られた仏さまであり、その名前である名号「南無阿弥陀仏」は、東・南・西・北・上方・下方・東南・東北・西南・西北の十方に響き渡っているとされています

どうして、「南無阿弥陀仏」と称えるの？

日曜サービスでは、皆さんが声をそろえて「南無阿弥陀仏」と称えますね。しかし、「南無阿弥陀仏」と称えなければいけないわけではありませ

ん。大事なことは、口に出して称える前に、耳から「南無阿弥陀仏」を聞いて、心でそれをいただくことです。生まれたばかりの赤ちゃんは、何ひとつとして言葉は知りませんね。でも、耳から言葉を聞くことによって、この人はお母さん、あの人はお父さんと学んで、ようやく口から「パパ、ママ」と声が出るのです。それと同じように、私たちも、まずは阿弥陀仏の名前である「南無阿弥陀仏」を素直に聞くことが大事とされます。耳に慣れ親しんだら、今度は口から自然と「南無阿弥陀仏」が出てくることになるのです。これが「南無阿弥陀仏」を称えるということであり、名号に抱かれて生かされていることへの感謝の念仏となるのです。

これで、少しは「南無阿弥陀仏」の意味も、聞いて称えることもおわかりになったでしょうか？ 浄土真宗は在家者のための教えであり、そのお法は奥深いものです。人間としてこの世に生を受けたことを感謝して、仏となる真の人生を歩ませていただきましょう

南無阿弥陀仏